

《担当者名》 歯学部教授 / 齊藤 正人 歯学部教授 / 會田 英紀  
 歯学部講師 / 倉重 圭史 歯学部助教 / 尾立 光  
 歯学部助手 / 榊原 さや夏 歯学部助教 / 煙山 修平

【概要】

身体・精神的な障害者（心身障害者）や介護が必要な高齢者も健常者と同等の医療を受ける権利がある。障害があるということとはどのようなことかを理解し、心身障害者の特徴や歯科的対応、要介護高齢者の特徴や歯科的対応について学習する。特に障害者や要介護高齢者に対する口腔衛生指導やブラッシング指導および口腔機能向上訓練などの口腔ケアの総まとめを行い、障害者高齢者学の知識を確実なものにする。

【学修目標】

障害者の概念および全身の特徴と歯科的特徴を説明する。  
 器質的口腔ケアと機能的口腔ケアの実際について説明する。  
 摂食嚥下障害について説明する。

高齢者の概念を説明する。  
 要介護高齢者の全身の特徴と歯科的特徴を説明する。  
 訪問歯科保健指導を行う上での留意点を説明する。  
 医療保険と介護保険について説明する。  
 各種業務記録を作成する。

【学修内容】

| 回 | テーマ  | 授業内容および学修課題   | 担当者                    |
|---|--|---|------------------------|
| 1 | 障害者歯科の総論<br><br>心身障害者の種類と特徴、歯科的対応                      | 心身障害者の捉え方、定義について説明できる。<br>歯科治療時の問題点について説明できる。<br>心身障害者患者に対する歯科的対応法について説明できる。<br>障害者歯科における術者側の問題と患者側の問題について説明できる。  | 齊藤 正人<br>倉重 圭史         |
| 2 | 心身障害者の種類と特徴、歯科的対応<br><br>器質的口腔ケアと機能的口腔ケア<br><br>摂食嚥下障害 | 精神発達遅滞の概要と歯科的特徴について説明できる。<br>自閉症の概要と特徴について説明できる。<br>ダウン症の概要と歯科的特徴について説明できる。<br>てんかん発作の概要と歯科治療時の対応について説明できる。<br>脳性麻痺の概要と歯科的特徴について説明できる。<br>器質的口腔ケアと機能的口腔ケアについて説明できる。<br>小児における摂食嚥下障害の評価と対処法について説明できる。  | 齊藤 正人<br>倉重 圭史         |
| 3 | 高齢者歯科の現状と<br>介護保険における口腔機能向上                            | 高齢社会日本の現状を踏まえ、高齢化の実態、医療・介護保険などの高齢者を支える保健・医療・福祉について理解する。<br>要介護高齢者における摂食・嚥下障害と口腔ケアとの関連を理解する。<br>介護保険における介護予防マネジメント（地域支援事業、予防給付）の理解、介護予防の中で実際に歯科衛生士が関与する口腔機能向上の概要ならびに口腔機能向上プログラムメニューの実際を理解する。<br>最新歯科衛生士教本「高齢者歯科」<br>P.1 - P.9、P.75 - P.79、P.104 - P.121<br>講義当日に参考資料を配付する。 | 會田 英紀<br>尾立 光<br>煙山 修平 |

| 回 | テーマ            | 授業内容および学修課題  | 担当者                    |
|---|----------------|--|------------------------|
| 4 | 介護保険における口腔機能向上 | <p>介護保険改正により介護予防サービスの一つとして口腔機能向上が導入され、口腔機能の理解が要介護高齢者における歯科医療において必要となっている。口腔機能の一つである摂食・嚥下機能について以下のことを理解する。</p> <p>摂食・嚥下機能の概要。摂食・嚥下障害のスクリーニング検査法。摂食・嚥下障害の評価方法。摂食・嚥下障害のリハビリテーション（体位・姿勢、食形態、機能訓練法）。窒息に対する対処法。</p> <p>最新歯科衛生士教本「高齢者歯科」<br/>P.25 - P.29、P.32 - P.35<br/>P.64 - P.74、P.99 - P.103<br/>講義当日に参考資料を配付する。</p> | 會田 英紀<br>尾立 光<br>煙山 修平 |
| 5 | 要介護高齢者における口腔ケア | <p>要介護高齢者における口腔ケアは、う触・歯周疾患の予防のみならず、誤嚥性肺炎等の呼吸器感染症の予防、口腔機能の維持・回復、さらに全身の健康の維持・回復および社会性の回復を目標とするものである。要介護高齢者における口腔の健康維持の重要性、口腔ケアの効果、自立度に応じた口腔ケアについて理解する。</p> <p>最新歯科衛生士教本「高齢者歯科」<br/>P.77 - P.98、P.115 - P.150<br/>講義当日に参考資料を配付する。</p>   | 會田 英紀<br>尾立 光<br>煙山 修平 |
| 6 | 障害者・高齢者歯科まとめ   | <p>試験対策<br/>講義当日に参考資料を配付する。</p>  | 齊藤 正人                  |

#### 【授業実施形態】

##### 面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

卒業試験100%

#### 【教科書】

「最新歯科衛生士教育教本 小児歯科」 医歯薬出版  
「歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版」 医歯薬出版

#### 【参考書】

「実践！介護予防 口腔機能向上マニュアル」 財団法人 東京都高齢者研究・福祉振興財団

#### 【学修の準備】

前年度までの教科書および講義資料、プリントを整理し内容を理解しておくこと（80分）。  
講義後は復習しておくこと（80分）。

#### 【実務経験】

齊藤正人（歯科医師）、會田 英紀（歯科医師）、倉重圭史（歯科医師）、尾立 光（歯科医師）、榊原 さや夏（歯科医師）、煙山 修平（歯科医師）

#### 【実務経験を活かした教育内容】

高齢者・有病者の歯科治療、訪問歯科診療に関して十分な実務経験のある歯科医師が担当している。